

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成26年7月4日

施設名	のいち動物公園	所管課名	土木部公園下水道課
-----	---------	------	-----------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県のいち動物公園協会	指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	高知県香南市野市町大谷738		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公園の利用許可及び利用料金の徴収 2. 公園の施設及び物品の維持管理 3. 公園の設置目的を達成するための企画及び実施 4. 動物の飼育と展示 5. 種の保存、自然保護、調査研究 6. 県民やボランティア等との協働事業の推進 7. 公園に関する要望及び苦情の処理 8. 緊急対応体制の確立 9. 清掃及び植栽管理 10. 警備業務 		
施設内容	<p>【公園全体】 面積: 19.9ha 開館時間: 9:30～17:00 休園日: 月曜日、12月27日～1月1日 入園料: 大人450円(年間1,500円)高校生以下無料</p>		
職員体制	正職員: 25名、嘱託員: 7名、契約職員: 7名 合計: 39名		

2 収支の状況

単位: 円

		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
収入	県支出金	334,535,000	336,252,000	381,980,000
	利用料	23,535,810	23,837,030	25,092,000
	その他	142,500	175,500	1,207,000
	収入計 (a)	358,213,310	360,264,530	408,279,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	168,952,197	168,700,529	180,913,000
	人件費	195,842,980	194,556,980	227,366,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	364,795,177	363,257,509	408,279,000
収支差額(a)-(b)		▲ 6,581,867	▲ 2,992,979	0

3 利用状況

	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	150,814	154,105	155,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>入園者が多いイベント開催時に、動物公園の利用動向について面接によるアンケートを動物公園内外で実施した。利用者属性や動物公園の改善点等についての調査結果をもとに、ニーズに対応するように努めている。 (ゴールデンウィーク(園内、高知市中央公園)、すこやか2013(ぢばさんセンター)、夜の動物公園、開園記念日)</p>		
	<p>○ その他</p> <p>動物公園の今後の運営方針の検討に向けて、第三者機関「のいちの風委員会」において、観光、自然環境、子育て中の親、マスコミなど各方面に関わる委員11名から意見を募っており、自主的な取り組みとして評価できる。</p>		

4 平成25年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>利用者サービスの向上のため、8月の帰省シーズンの定休日開園や、開園記念日の無料入園を実施しており、評価できる。</p> <p>動物の逸走事故が発生し、未然防止の体制強化を求める。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>事業計画に基づいて適切に行われた。</p> <p>年間企画イベント44、月間企画イベント9、展示企画6の計59企画を実施した。</p> <p>昨年度に引き続き、職員提案により「キーパーズカフェ」他2つの新しいイベントを開催し、幅広い層の入園者に向けた内容のイベントを開催したことは評価できる。</p> <p>また、幼児～小学3年生を対象に、モルモットなど小動物を使った飼育職員による動物解説とふれあい方の講習教室を実施した他、飼育施設見学などの団体レクチャー、出前授業、中学生・高校生の職場体験や学芸員資格の博物館実習等の受け入れ、教育用標本貸出、高齢者向けの園外講演など、幅広い年齢層を対象とした教育普及活動を継続的に行っている。小学校授業の教材になっているビーバーのオリジナルビデオを活用した解説が、利用者から好評を得ている。</p> <p>動物の繁殖にも取り組み、今年度は21種127頭を生育し、動物園の役割の一つである「種の保存」を果たすとともに、国内唯一のブチハイエナの群れ展示を行うなど、教育と集客に繋げている。</p> <p>駐車場の交通整理では、係員の挨拶や対応について利用者から好評価を得ている。</p>
③利用実績	<p>入園者数は、6年ぶりに15万人台を回復した昨年度に引き続き、154,105人となった。新しく生まれた動物の展示、県内・瀬戸内地方でのタイムリーなテレビ広告を実施したことから、集客の増加につながり、評価できる。</p>
④収支の状況	<p>予算執行管理に努める一方、職員給与を削減して来園者の安全・安心につながる物品を購入し、非常時に対応できる体制を整える等により300万円程の赤字となった。</p>
総合評価	<p>協定書及び事業計画の目標以上の管理運営業務が実施されたと認められる。</p> <p>蓄積された動物公園運営ノウハウを生かし、本年度はユーラシアカワウソ、キンカジュ、エミューなどの展示動物を導入するとともに、多くの動物を繁殖させ、広報活動や多種多様なイベントを実施するなど、集客に結び付ける体制づくりに努めている。</p> <p>これからも子供たちだけでなく幅広い年齢層に親しまれる動物公園になっていくことが期待される。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの